

村じゅうを、花でいっぱいにする計画。



島根県の東南部、飯石郡吉田村にある〈ケアポートよしだ〉は、21世紀の本格的な高齢化社会に対応する拠点として建設された高齢者総合福祉施設。その運営上の基本方針の中に『生きる意欲が湧くようさまざまな機会を提供する』という柱があり、そこで大きな役割を果たしているのがスタッフのお手伝いをしているボランティアの方々です。以前、小学校の先生をされていたあるボランティアの方は、デイサービスに訪れるお年寄りの方々に花づくりを指導されています。「花の生長を見守るのがとても楽しみだと評判なんです。それともうひとつ、家々に配って村じゅうを花でいっぱいにしようという計画があって、皆さん村のために役立てることにとても大きな喜びを感じていらっしゃいます。心のはりみみたいなものも生まれてきたみたいですね。今年の目標は3,000鉢なんです」と、とても充実しているご様子。「ボランティア？あまり意識したことはありません。だって、いろんな人生を歩まれてきた方たちとふれあうことでいろんな話ができますし、私自身楽しませてもらってますから」と気負いのようなものもまったく感じられません。やがて来る高齢化社会。それは、今以上に街にもふるさとも人を思いやるやさしい気持ちが求められる社会です。吉田村のあちらこちらに見えたパンジーやクリサンセマム、ロベリヤの美しい花は、そんな将来の私たちのあり方にそっとヒントを投げかけてくれていたようです。

●ケアポートよしだ

2005年には、高齢化のピークを迎えると予測される吉田村。〈ケアポートよしだ〉はそんな実情を踏まえ、高齢者のニーズに総合的かつ多面的に応える施設として平成8年5月、日本船舶振興会の協力で完成した高齢者総合福祉施設。過疎化を前提におきながら活気ある村づくりも念頭に据え、高齢者に限らず広く一般にも開放され、地域全体のコミュニティゾーンとしても機能している。



あなたのふるさとを元気にしたい
財団法人 日本船舶振興会